

## 会議録（１）

会議の名称	平成30年度 第3回飯能市地域福祉審議会 及び飯能市地域福祉活動計画推進委員会
開催日時	平成31年1月8日（火） 開会 午後6時30分 閉会 午後7時30分
開催場所	飯能市総合福祉センター 2階 視聴覚室
議長氏名	田中 英樹
出席委員	田中 英樹 角田 健一 向澤 雅啓 高橋 純子 窪寺 朋子 大野 泰規 大野 康 加藤 守 濱中 政雄 豊嶋 康雄 野村 五郎
欠席委員	橋本 誠一 清野 剛義 杉田 和美 小澤 靖子
説明者の職氏名	健康福祉部長兼福祉事務所長 島田 茂 地域・生活福祉課長 土屋 浩美 地域・生活福祉課主幹 須田 あゆみ 飯能市社会福祉協議会常務理事兼事務局長 大野 悟 飯能市社会福祉協議会主幹 野田 剛
傍聴者の数	なし
会議次第	別紙のとおり
配布資料	別紙のとおり
事務局職員職氏名	健康福祉部長兼福祉事務所長 島田 茂 地域・生活福祉課長 土屋 浩美 地域・生活福祉課主幹 須田 あゆみ 地域・生活福祉課主任 松本 正尚 飯能市社会福祉協議会常務理事兼事務局長 大野 悟 飯能市社会福祉協議会主幹 野田 剛 飯能市社会福祉協議会主任 梅木 裕也

## 会議録（２）

### 議事録の概要〈経過〉・決定事項

#### 議事

- （１）第３次はんのうふくしの森プランについて  
配布資料について、事務局が説明した。

## 会議録（3）

発言者	発言内容
会長	<p>ただいま、当審議会から「第3次はんのうふくしの森プラン」について、市長へ答申しました。</p> <p>昨年12月18日に行われた審議会で、委員の皆様にご審議いただいたご意見等をまとめ、答申したものです。答申に反映した内容などについて、事務局から説明をお願いします。</p>
地域・生活福祉課主幹	(資料説明)
会長	<p>説明は以上です。皆様からご意見やご質問はございますか。</p> <p style="text-align: center;">(なし)</p>
会長	<p>本日は答申という大きな節目となり、第3次プランの完成が近づいたことを皆様にも実感していただいたことと思います。</p> <p>ここで、本年4月から第3次プランを新たに推進していくにあたり、委員の皆様からご意見をいただきたいと思ひます。</p> <p>本日欠席の委員からご意見をお預かりしておりますので、先にご紹介させていただきます。「ふくしの森のベースは地域の方の参加であると思ひます。そうした中で現在、各地域では公民館、自治会館等を利用した健康体操、コーラス、囲碁・将棋等いろいろなサークル活動や、飯能市のかがやきサポーターによるむーまワクワク体操が行われています。これらは冠こそありませんが各地域の特徴を活かしたふくしの森活動そのものだと思います。この様なサークル活動を通じて、地域に合ったふくしの森の4つの重点目標をより具体的に進めていけるものと思ひます。」とのことでした。</p> <p>それでは、よろしくお祈ひします。</p>
委員	<p>精神科医療に携わり福祉とは深く関わる中、自治会やPTAなど一住民としても地域の活動に参加して、地域の大きな力を感じています。</p> <p>地域では高齢化が進んでいますが、地域包括ケアシステムなど、地域の方々のお力と共に、地域で支えていけるように関わっていきたく思ひます。</p>
委員	<p>ふくしの森プランについては、広く周知して地域の方々の理解が</p>

委員	<p>得られるように、学校としても積極的に取り組んでいきたいと思 います。</p> <p>子育て支援に関わっている立場として、ふくしの森プランの周知 は使命だと思っています。今後も丁寧に相談を受けとめていくこと で、飯能市は子育てしやすい地域だということを皆さんに感じてい ただきたいと思ひます。</p>
委員	<p>ひとり暮らしの方が増えていますが、そういう方までプランが届 くように周知し、困っていてもどうしたらよいかわからない人を少 しでもなくすことができれば良いと思ひます。</p> <p>地域のサロンの中でも、新しいボランティアが少しずつ増え、今 後を担っていただけると良いと思ひます。また、コミュニティソー シャルワーカーが配置され、相談につながるよう重点を置くことが 大事だと思ひます。</p>
委員	<p>ふくしの森プランを踏まえて、ボランティアの養成や交流を通じ て、より良いボランティア活動ができるよう検討が必要だと感じて います。</p> <p>地域のサロン活動も、地域福祉推進組織につながるような形で活 動ができれば良いと考えています。</p>
委員	<p>ふくしの森プランの周知は、まだ足りないと思ひます。多くの方 に知っていただくよう目に見える形で周知することが大事だと思 ひます。地域のサロンなどの居場所や、ひとり暮らしの方が安心で きる隣近所の見守りなど、市民の方が肌を感じられる活動が大事だ と思ひます。</p> <p>ふくしの森プランの取組が、安心して暮らせる地域づくりにつな がれば良いと思ひます。</p>
委員	<p>地域では人口が減少しており、老々介護の方が増えていると感じ ています。</p> <p>第3次プランの基本目標である【安】は、安心して生活できる地 域づくりとして、とても重要なテーマだと思ひます。</p> <p>空き家対策や防災・防犯の地域づくりは、具体的な対策が必要だ と感じています。</p> <p>超高齢社会に備えて、健やかに暮らせる地域づくりに重点的に取 り組んでいきたいと思ひます。</p>
委員	<p>第3次プランにおいては、地域福祉推進組織をいかに充実し、継</p>

続していくかが課題だと認識していますので、ふくしの森サポーターに大いに関心を持っています。ふくしの森サポーターが、ふくしの森プランの推進員的な役割となることを期待しています。

また、市民に参加や協力を求めていくには、市民がふくしの森プランを知っていないと推進できませんので、ふくしの森プランをいかに市民に周知するかが大きな課題だと思います。第3次プランの策定にあたり、ふくしの森地区別懇談会を開催して広く意見を聞いていますので、第3次プランの推進に向け、地域での周知と協力の呼びかけが大事だと思います。

委員

ふくしの森プランをより広く知っていただき、地域福祉への共通認識のもと協働で取り組んでいくと良いと思います。

福祉関係事業所でも、自身の事業がふくしの森プランのどの部分を担っているのかを認識して活動することが大事だと思います。市民はもちろんですが、事業関係者に周知することでさらにふくしの森が広がっていくと思います。

委員

ふくしの森プランがスタートして10年が経過し、第3次プランでは、ふくしに森を「さらに育てていく」ことがうたわれ、「ふくしの森を育てる」イコール「飯能市の地域福祉を進める」というところにまで到達しました。

第3次プランでは、それぞれの方がそれぞれの役割で世代を超えてふくしの森を育てていくということが盛り込まれるようになりました。まさに森づくりと同じです。

担い手の育成が大事ですが、人を育てるというのは、実は育てているつもりが育てられているもので、その過程で自分のできることは何かを考えるきっかけになれば良いと思います。

地域の中でも、これまでの流れに新しい活動も取り入れながら、お互いを尊重し合うことで、誰もが普段の幸せを実感できるのではないかと思います。

第3次プランの策定に携わった皆さんと共に、新しい第3次プランの誕生を祝福したいと思います。

会長

委員の皆様、貴重なご意見ありがとうございました。

ふくしの森プランの策定に関わり、10年が経ちました。この間、飯能市でも人口減少社会の中でどのように私たちの暮らしを守っていくかが大きなテーマになってきました。飯能市の地域福祉を森づくりに例えたふくしの森プランは、中山間地域が先導して動き出しました。これからの第3次プランでは、全ての地域で希望の共有、未来の共有ができるようにしていきたいと思います。

そして、地域福祉の推進にはコミュニティソーシャルワーカーを地域に専任で配置していくことが必要です。近年は、複合的で困難な生活上の課題も多く、一機関、一職種で対応できる課題は殆どなくなってきました。課題解決のためには専門性がかなり要求されますので、社会福祉協議会と市が連携して、第3次プランでは専門性を高めたコミュニティソーシャルワーカーの配置が充実できればと思います。

また、ふくしの森サポーターについては、単に「協力する」「手助けする」という考え方ではなく、活動に主体的に関わる市民として育成していきたいと思います。

先日、社会福祉協議会がふくしの森プラン啓発の一環として、クリアファイルを1万部作成しました。まず、小・中学校の児童・生徒へ配布しましたが、今後、市民全体に配布すると市民の8人に1人がクリアファイルを持っていることとなります。このように可視化して周知していくことは、大変素晴らしいアイデアです。コミュニティソーシャルワーカーとふくしの森サポーターも可視化して周知していくことで、誰もがふくしの森プランを知ることにつながると良いと思います。

今後も、ふくしの森プランの推進につきましては、皆様のお力添えをお願いします。

では、本日の議事は以上になりますので、これをもちまして議長の任を解かせていただきます。

委員の皆様、ご協力ありがとうございました。

議事の内容・概要を記載し、その相違ないことを証するためここに署名します。

平成 年 月 日

議長の署名 \_\_\_\_\_